

平成29年度（平成28年度実施分）個別施策評価シート

①文教厚生 委員会

| | |
|----------|---|
| 評価する個別施策 | 地域課題の共有と発掘 ・地域の福祉課題について、地域住民が中心となり、行政、社会福祉協議会、関係機関と情報共有し、問題を解決するための場である「ふくし井戸端会議」への住民参加を促進します。 |
|----------|---|

項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄は必ず記入してください。

| 評価項目 | 評価基準 | | | 判断理由・評価コメント | |
|---------------------------|--|--------|-----|-------------|--|
| | 点数 | チェック | 評価点 | | |
| 個別施策の実現に向けて順調か | 概ね順調 | 76～100 | | 51 | 「順調に進んでいる点」 十分とは言えないものの、体制の整備はできたのではないかな。 |
| | どちらかといえば順調 | 51～75 | ○ | | 「遅れている点」 ふくし井戸端会議やにじいろサポーターなど住民への浸透がされていない。 |
| | どちらかといえば遅れている | 26～50 | | | 「その他コメント」 なし |
| | 遅れている | 0～25 | | | |
| 構成する事務事業は、個別施策を実現するために有効か | 個別施策実現のために必要な内容が不足していないか | | | | 不足している。 ふくし井戸端会議への参加や、にじいろサポーターの受講の啓発。 |
| | 無駄な事業・内容はないか (不要な事業、類似事業を含む) | | | | なし |
| | その他コメント | | | | なし |
| 施策の今後の方向 | 注力すべき事業・内容はあるか。どのように改善するか (事業自体はあるが、改善をすべき内容を記載。委託も。) | | | | ・「ふくし井戸端会議」の参加者が固定化されているため、今後、テーマについては世代別の課題設定をし、開催をする必要がある。 ・にじいろサポーターの果たすべき役割を明確化し、周知することが必要。 |
| | 追加すべき事業はないか (事業自体無い、あるいは、不足している内容を記載) | | | | ・にじいろサポーター受講者同士のネットワーク化 |
| | 廃止すべき事業・内容はあるか | | | | なし |
| | その他コメント (不要だが廃止しない場合の理由、などを記入) | | | | なし |
| その他コメント | なし | | | | |

平成29年度（平成28年度実施分）個別施策評価シート

②文教厚生 委員会

| | |
|----------|--|
| 評価する個別施策 | 地域社会への参加の促進 ・老人クラブやシルバー人材センターなどの高齢者が社会参加する場や活動の活性化を図り、地域活動や就業による地域社会への高齢者の参加を促進します。 |
|----------|--|

項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄は必ず記入してください。

| 評価項目 | 評価基準 | | | 判断理由・評価コメント | |
|---------------------------|---|--------|-----|--|---|
| | 点数 | チェック | 評価点 | | |
| 個別施策の実現に向けて順調か | 概ね順調 | 76~100 | | 51 | 「順調に進んでいる点」 シルバー人材センターへの登録人数は減少しているものの、売り上げは微増となっている。 「遅れている点」 老人クラブの会員数が減少しており、クラブの魅力づくりがされていない。かつ、高齢者のニーズに対応した活動が行われていない。 「その他コメント」 |
| | どちらかといえば順調 | 51~75 | ○ | | |
| | どちらかといえば遅れている | 26~50 | | | |
| | 遅れている | 0~25 | | | |
| 構成する事務事業は、個別施策を実現するために有効か | 個別施策実現のために必要な内容が不足していないか | | | 老人クラブやシルバー人材センターへの参加のみにこだわらず、多種多様な地域社会参加の場をお知らせする必要がある。 | |
| | 無駄な事業・内容はないか（不要な事業、類似事業を含む） | | | | |
| | その他コメント | | | | |
| 施策の今後の方向 | 注力すべき事業・内容はあるか。どのように改善するか（事業自体はあるが、改善すべき内容を記載。委託も。） | | | ・老人クラブの活動内容をホームページで紹介しても、誰もが閲覧できる状況ではないため、周知方法について再考すべき。 ・紙媒体の情報誌（ハローズ）は老人クラブの取り組みを周知する上で有用であるが、現状会員だけに配布されているため、非会員にも配布し、会員拡大に繋げてはどうか。 | |
| | 追加すべき事業はないか（事業自体無い、あるいは、不足している内容を記載） | | | ・老人クラブだけに拘らず、元気なシニア世代（特に男性）が活躍できる場の提供を模索すること。 | |
| | 廃止すべき事業・内容はあるか | | | なし | |
| | その他コメント（不要だが廃止しない場合の理由、などを記入） | | | なし | |
| その他コメント | 非会員が参加してみようと思える仕掛け、また受け入れ体制が不足している。 | | | | |

平成29年度（平成28年度実施分）個別施策評価シート

③文教厚生 委員会

| | |
|----------|---|
| 評価する個別施策 | <p>学校・家庭・地域との連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の優れた知識、技能を有する人材を活用し、多様な知識や経験を学ぶことができる機会を増やします。 ・自治区やPTAを始め、市民活動・スポーツ団体と学校・家庭がともに活動する場を設け、相互交流を促進します。 ・小1プロブレムや中1ギャップなどを解消するため、幼稚園と小学校、小学校と中学校や地域の高校との連携を図り、学校間交流を推進します。 ・保護者や地域住民で構成する学校運営支援協議会により、地域と学校の連携を深めます。 |
|----------|---|

項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄は必ず記入してください。

| 評価項目 | 評価基準 | | | 判断理由・評価コメント |
|---------------------------|--|--------|-----|--|
| | 点数 | チェック | 評価点 | |
| 個別施策の実現に向けて順調か | 概ね順調 | 76～100 | | 60 「順調に進んでいる点」 全小中学校への学校運営支援協議会の設置。キャリア教育の推進。 「遅れている点」 学校運営支援協議会の機能において温度差がある。地域住民の理解が進んでいない。 「その他コメント」 なし |
| | どちらかといえば順調 | 51～75 | ○ | |
| | どちらかといえば遅れている | 26～50 | | |
| | 遅れている | 0～25 | | |
| 構成する事務事業は、個別施策を実現するために有効か | 個別施策実現のために必要な内容が不足していないか | | | 不足している。 学校運営支援協議会（教育委員会運営事業）が本施策を実現するための事務事業として位置づけられていない。 |
| | 無駄な事業・内容はないか（不要な事業、類似事業を含む） | | | 類似団体（少年を守る会）があり、精査すべき。 |
| | その他コメント | | | なし |
| 施策の今後の方向 | 注力すべき事業・内容はあるか。どのように改善するか（事業自体はあるが、改善すべき内容を記載。委託も。） | | | ・地域が学校へ貢献したいという意欲の向上を図ることが必要であるため、学校からの情報発信は、単に学校行事の報告だけではなく、学校運営への協力を促すものにする必要がある。 |
| | 追加すべき事業はないか（事業自体無い、あるいは、不足している内容を記載） | | | ・今後のコミュニティスクール化を見据えて、学校支援ボランティア（樹木の剪定、学習支援、見守り支援等）の充実が必要。 ・学校運営支援協議会（教育委員会運営事業）を本個別施策達成のための一事業として位置付け、目標を定めて取り組む必要がある。 |
| | 廃止すべき事業・内容はあるか | | | なし |
| | その他コメント（不要だが廃止しない場合の理由、などを記入） | | | ・学校運営支援協議会と既存の団体（少年を守る会等）の役割を明確化すべき。 |
| その他コメント | 学校・地域・家庭間での連携が重要であるが、まだまだ温度差がある。28年度は暖機運転中で、29年度がスタートの年であり、今後を期待したい。 | | | |